

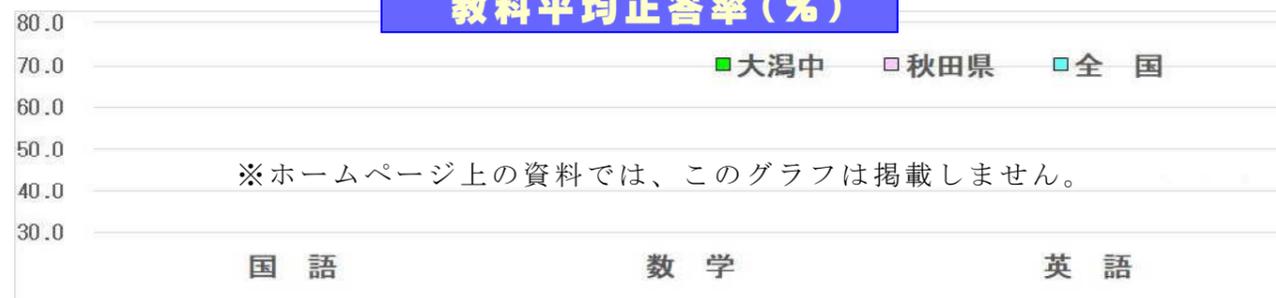
令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を報告します！

4月18日(火)に、3年生を対象として行われた全国学力・学習状況調査(以下、全国調査)の結果が、7月下旬に公表されました。今年度は4年ぶりに英語も実施されました。新聞やテレビ等の報道により、すでにご存じのことと思いますが、秋田県は、国語及び算数、数学において、小、中学校ともに今年度も全国トップクラスの成績でした。しかし、英語については、全国平均を下回るという結果でした。

今号では、全国調査の本校の結果をお知らせします。3年生が対象ですが、この結果を全校の傾向として捉えて分析し、今後に生かしていきたいと思っております。

教科の調査結果

教科平均正答率(%)



各教科とも、全国平均、秋田県平均よりも上回っていて、学習内容の定着状況は良好であると言えます。しかし、次の問いでは、県平均をかなり下回り、課題と言えます。
 国語…現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。
 数学…「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。
 英語…学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。
 各教科において、学習したことを活用して考えたことを、自分の言葉で表現する力の育成に取り組んでいく必要があります。

質問紙調査の結果 (1) 基本的な生活習慣や学習習慣等

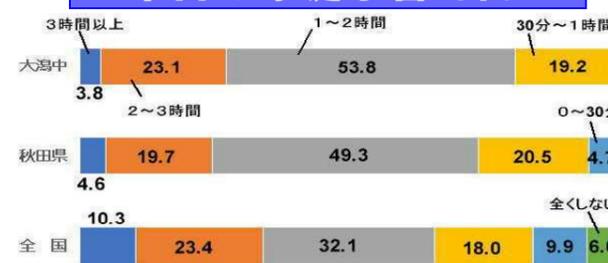
早寝・早起き・朝ご飯



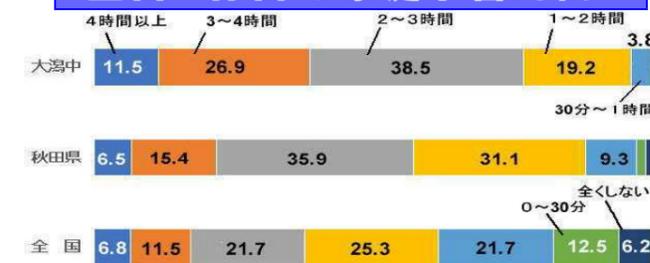
家で自分で計画を立てて勉強



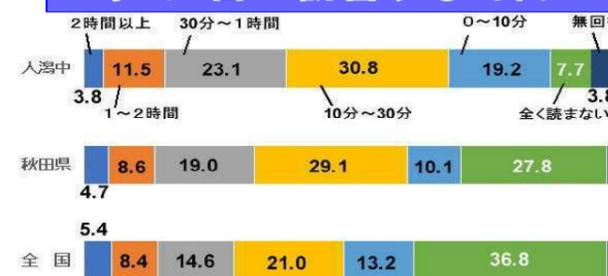
平日の家庭学習時間



土日、休日の家庭学習時間



家で1日に読書する時間



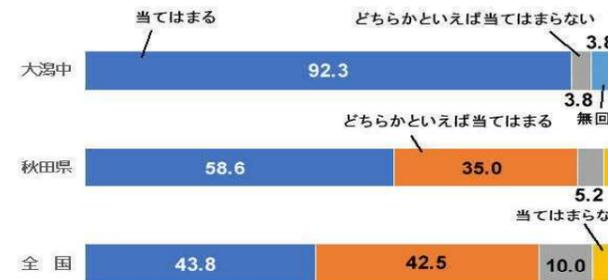
話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広めたりしている



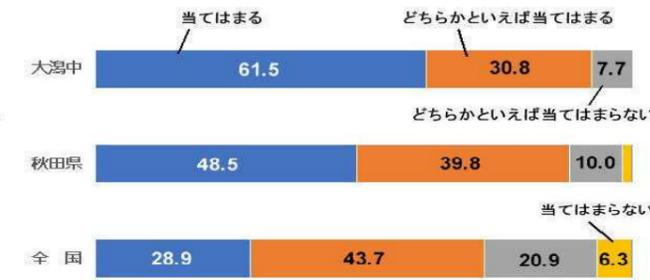
早寝・早起き・朝ご飯の項目は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答の合計を示しました。朝食を毎日食べるという生徒は、100%という素晴らしい結果でした。しかし、「決まった時間に寝る」という基本的な生活習慣については、県や国を下回る結果となりました。
 自分で計画を立てて家庭学習をしている生徒の割合はとても高く、家庭学習の時間も県平均より長いようです。部活動の練習がある平日は長時間とは言えませんが、土日、休日は、十分に家庭学習に取り組んでいるようです。このように、学習習慣が定着している生徒が多いことが、全国調査での好成績につながったものと考えられます。
 読書する時間は、県、全国より上回っています。しかし、10分以下や全く読書をしていないという生徒もいますので、家で読書をする習慣を身に付けてほしいと思います。別の項目で、図書館を利用する割合、新聞を読む割合は、比較的良好でした。
 話し合い活動については概ね良好ですが、「他者と協働し、新しい価値を創造する力」を一層高めるよう、授業の中で「協働的な学習」を充実させていきたいと思っております。

(2) 道徳、総合的な学習の時間

道徳の授業で自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる



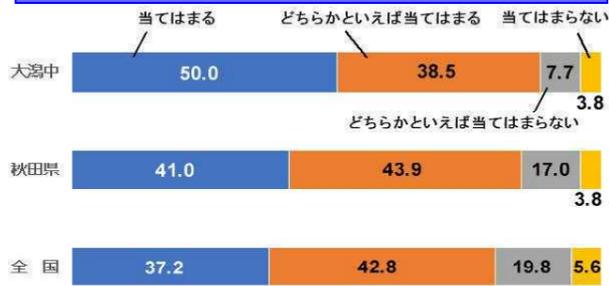
総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



道徳や総合的な学習の時間への取組状況は、大変良好な結果となりました。本校では、道徳の授業でもタブレットを活用し、話し合いを深めています。総合的な学習の時間においては、一人一人が自分で課題を設定し、探究学習を進めています。

(3) 自分自身について

自分には、よいところがある



将来の夢や目標をもっている



人が困っているときは進んで助けている



いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



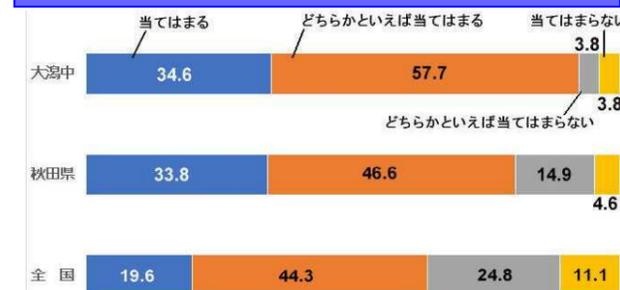
「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」という、自己有用感に関する問いについては、県や全国よりも肯定的な回答が多く見られました。今後、全員が「当てはまる」と回答できるように取り組んでいきたいと思ひます。
 「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」については県や全国よりも低い傾向が見られます。道徳科を中心として学校の教育活動全体を通じて「思いやりの心」を育てていきたいと思ひます。

(5) 地域とのつながりについて

今住んでいる地域の行事に参加している



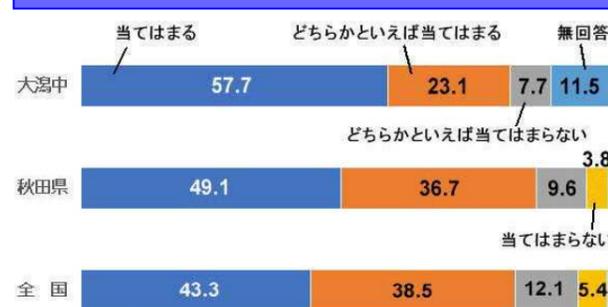
地域や社会をよくするために何かしてみたい



地域とのつながりに関する設問では、県や全国よりも肯定的な回答が圧倒的に多く見られました。大潟村の（大人の）コミュニティの強さが、保護者や地域の方々の背中を見て生徒にも伝わっているように感じました。
 秋田県では、「地域に根ざしたキャリア教育の充実」を最重点の教育課題としていいます。今後も家庭、地域の方々と連携しながら、生徒のよりよいキャリア発達を促すことができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

(6) その他

学校に行くのは楽しい



外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りてみたい



「学校に行くのは楽しい」という設問では、「当てはまる」と回答した生徒は多かったものの、「どちらかといえば当てはまる」という回答と合わせた肯定的な回答は、県や全国の平均を下回っています。否定的な回答及び無回答の生徒には、個別に話を聞く機会を設け、対応していきたいと思ひます。
 外国との関わりについては、県や全国よりも肯定的な回答が多く見られました。大潟村では、デンマークとの国際交流事業やALTとの関わりなど、国際交流に力を入れてくださっていることと関連しているものと考えられます。

今後の取組について

今後も、学校教育目標「高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成～笑顔と感動のあふれる大潟中～」及び目指す生徒像の具現を目指し、次のように取り組んでいきます。

○自ら学び、表現できる生徒

探究心

まずは基本的学習習慣が定着するよう、支援していきます。その上で、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを進めていきます。どの教科でも、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図るとともに、既習事項や生活経験を基にして思考、判断したことを表現する力の育成に取り組まします。



1年 家庭科の授業での発表

○高い志を持ち、凡事を徹底できる生徒

行動力

地域に根ざしたキャリア教育を一層推進し、「夢を持ち、将来設計する力」、「自己を肯定的に捉える力」、「粘り強くやり遂げる力」の育成に取り組み、自己有用感の醸成を図ります。また、何事にも「凡事徹底」を意識して行動することを通して、自分で自分の心を強く育てられるよう支援していきまします。



2年 職場体験学習 消防署

○思いやりの心を持ち、仲間と共に励む生徒

協働性

道徳の授業を一層充実させるとともに、全教育活動を通じて生徒の道徳性を育みます。特に思いやり、郷土愛、開拓者精神といった内容項目について重点的に扱います。また、他者とコミュニケーションをとりながら、新しい価値を創造することができるよう、各教科の授業での話し合い活動、総合的な学習の時間や特別活動の充実を図ります。



3年 道徳の授業での話し合い